

第 3 回入札監視委員会会議録

1. 開催日時 平成29年1月27日（金）
午後3時00分～午後5時07分
2. 開催場所 高浜市役所 2階会議室
3. 出席委員 委 員 児 玉 善 郎（大学教授）
 委 員 丹 羽 重 則（元市収入役）
 委 員 中 原 弘 道（元県職員）
4. 事務局職員 内田総務部長、岡島グループリーダー、杉浦主幹、中根主査、
 桑山主事

5. 議事概要

- (1) あいさつ
- (2) 平成28年度 後期入札案件の検討について
- (3) その他
 予定価格事後公表試行案件の入札結果のまとめ

主な質疑・回答

質問・意見	回 答
<p>1. 高落札率案件 工事 【一括検討】</p> <p>①高取保育園園舎軒先補修工事 （建築一式工事：条件付き一般競争入札）</p> <p>②碧海グランド照明鉄塔塗装工事 （建築一式工事：条件付き一般競争入札）</p> <p>③碧海グランド・テニスコート照明器具 設備更新工事 （電気工事：条件付き一般競争入札）</p> <p>○予定価格の積算は業者見積りを取りましたか。また取った場合は、その業者は応札業者の中にありますか。</p> <p>○①の工事について、5番札の業者は予定価格事前公表案件だが、その額を入札額が超えているが無効という扱いになりませんか。</p>	<p>○業者見積りを取りました。応札の2番札の業者です。</p> <p>○電子入札では応札できるようになっているので、このような結果となりましたが一度要綱を調べます。（「高浜市公共工事の入札に係る予定価格の事前</p>

<p>○②の工事について、見積業者を教えてください。</p> <p>○②の工事のメインは塗装工事ですか。</p> <p>○塗装がメインなら業者見積りを取らなくても県の基準単価で積算できると思いますがどうですか。</p> <p>○予定価格は見積りで立てていますか、積算で立てていますか。</p> <p>○③の工事ですが、見積りを取った業者はどこですか。</p> <p>○③の工事は、応札可能業者が14者なのに応札業者は4者と少ないが、どうしてですか。</p> <p>○業者側が公告に気づいていないということはないですか。</p>	<p>公表に関する要領」には規程がなかったが、落札する可能性はないため次回からは無効扱いとする。)</p> <p>○落札業者と3番札の業者です。</p> <p>○そうです。</p> <p>○予算見積りの段階では設計書を組まないで、業者2者から見積りを取って安いほうで予算付けしました。</p> <p>○積算で立てています。</p> <p>○落札業者です。</p> <p>○電気工事は市内に業者が少ないので、知立建設事務所管内の電気工事の評点が一定以上あれば応札できる条件で実施しています。それで応札したのが、この4者となっています。</p> <p>○建通新聞にも公告を通知しているので知らないということはないはずです。</p>
<p>【審議結果】</p> <p>工事入札においては、全体的に落札率が高くなっている傾向にあるため、昨年度より予定価格の事後公表の試行を行っているところである。「7. 予定価格事後公表試行案件の入札結果のまとめ」で合わせて今後について検討する。</p>	
<p>2. 予定価格事後公表案件</p> <p>④舗装修繕工事 市道葭池線 (土木一式工事：条件付き一般競争入札)</p> <p>○予定価格事後公表試行案件のため、2回目の入札で落札となりました。2回目の入札は応札が3者となりましたが。</p>	<p>○4番札と5番札の業者が2回目の応札をしませんでした。</p>

<p>○その理由は把握していますか。</p> <p>○2回目の入札で落札率98.31%となりましたが、予定価格事前公表でも同じ落札率だったと思いますか。</p> <p>⑤ (仮称) 高浜緑地多目的 (スポーツ) 広場整備工事 (土木一式工事: 条件付き一般競争入札)</p> <p>○1回目の入札時の応札者は5者あるのに、2回目入札の応札者は2者となっている。なぜ応札者が少なくなるのですか。</p> <p>○2番札の業者はこの工事はあまり得意ではないということはありませんか。</p>	<p>○1回目の入札で落札できなければ、それ以下の価格では折り合えないということだと思います。</p> <p>○各業者は積算システムを導入しており、建設物価、歩掛表も公表されているので、それほど違った金額にならないと思います。舗装修繕工事は市内には舗装の専門業者がなく、どこかに下請を頼むことになるので、あまり経費を削減できる要素はないということもあります。</p> <p>○業者にとって実勢価格と合わない予定価格になっているということだと思います。予定価格を厳しく設定しているので、材料単価等が上がった等の影響で1回目の入札で落札できなければ、それ以下の価格では折り合えないということだと思います。</p> <p>○この工事はグラウンドの防球ネットを張るのがメインで、専門業者に下請に入ってもらった工事になるので、自分たちで請ける部分は工事金額の中で占める割合としては少なくなると思います。</p>
<p>【審議結果】 本案件は、④、⑤とも2回目の入札で落札となった。予定価格の金額算定の段階で厳しい価格設定となっていることから、高落札率になったと判断した。</p>	
<p>3. 高落札率案件 物品【一括検討】</p> <p>⑥ 給食調理備品等 (物品: 指名競争入札)</p> <p>⑦ 中学校教育用コンピュータ及び学習ソフト等の賃貸借に伴う機器類の基本価格 (物品: 指名競争入札)</p>	

<p>○⑥の案件の見積りはどちらの業者から取りましたか。</p> <p>○⑥は大型の物品なので据付工事が発生するものではありませんか。</p> <p>○物品価格と据付工事費を別で見積りを取ったほうが安くなったのではないですか。</p> <p>○冷却水が入るダクトを設置するようなものではないですか。</p> <p>○物品の納入、据付を含めて一本で見積りを取ったので、この結果になったと思われそうですがどうですか。</p> <p>○⑦の案件は辞退者が多い。その理由に『時間的に正確な見積りが出せないため』というものがあるが、見積り期間は何日取ってありますか。</p> <p>○見積りを取ったのはどこですか。</p> <p>○見積りを取ったのは1者ですか。</p> <p>○結果を見るとその業者は3番札となりましたが、1番札と2番札の業者もこういった物品の納入実績はある所ですか。</p> <p>○そういった過去の経験を生かして今回の予定価格に近い額での落札になったと思われませんか。</p>	<p>○1番札と3番札の業者です。</p> <p>○物品の納入・据付までを含めて見積り書もらっています。</p> <p>○据付工事は県の歩掛りで単価がありますので単価を出すことはできますが、冷蔵庫一つの据付ですので人工が0.何人となる程度のものになりますのでそれだけで工事費とするほどではありません。</p> <p>○配管工事が必要になるものではありません。</p> <p>○見積りを出す段階で業者がぎりぎりの価格を出しており、その結果だと思います。</p> <p>○6日間です。 こちらは金額が高額で仕様書も6頁あるので、それを積算するのに日にちが短いということでした。</p> <p>○3番札の業者です。応札価格は見積り書の価格より高くなりました。</p> <p>○情報教育担当の先生方で構成されている委員会で仕様を決めており、過去の実績業者1者で見積りを取りました。</p> <p>○1者は過去に落札実績があり、もう1者も応札実績があります。</p> <p>○予算書はどなたでも閲覧できますので、業者は情報収集に努めれば金額を類推する事ができます。</p>
--	---

<p>【審議結果】 本案件は、見積書の段階で厳しい金額であり、予定価格もそれに準じた価格設定となったために、高落札率になったと判断された。</p>	
<p>4. 低落札率案件 ⑧白アリ防除業務委託 (委託：指名競争入札)</p> <p>○見積り徴収はどこから取りましたか。</p> <p>○落札業者はどうしてこんなに低い価格で応札できたのですか。</p> <p>○防除業務はきちんと実施されたのは間違いありませんか。</p>	<p>○過去に害虫防除業務で実績のあった4番札の業者から取りました。緊急に対応する必要があったため見積り徴収はこの1者です。</p> <p>○白アリの専門業者でノウハウがあることと、施工する建物がコンクリート造で木材部分が少ないため、真に必要な面積部分で積算したので、床面積㎡あたりで積算した業者より金額が低くなり、差が付きました。</p> <p>○はい。5年間の保証書ももらっています。</p>
<p>【審議結果】 本案件は、予定価格設定の見積り業者が白アリ防除の専門業者でなかったために防除業務に必要な面積算定に違いが生じて低落札になったと判断した。</p>	
<p>5. 入札不調案件 ⑨賦課資料電算入力事務委託 (委託：指名競争入札)</p> <p>○なぜ、入札不調となりましたか。</p> <p>○現状どう対応しましたか。</p>	<p>○いわゆるマイナンバー法の関係で入力業務の作業量が増えたことにより、これまでは複数の自治体の業務を受注できていた業者が手一杯ということで辞退が増えて不調となりました。</p> <p>○基幹系システムが新しくなりますので、給与報告書がデータで提出されるものはデータで取り込めるようにし、パンチ委</p>

<p>○見積り徴収はどこで取りましたか。</p> <p>○辞退理由で「フォーマットが変更しており作業が担保できない」とありますが、これはどういうことですか。</p> <p>○マイナンバーのことは今後も続くので対応に気を付けないといけません。</p>	<p>託件数を減らしました。その上で見積り合せをして随意契約をしました。</p> <p>○2者から取りましたが、今回どちらも辞退しました。</p> <p>○基幹系システムが現行業者から他社に変わるので、それをテストするのにこれまでより多くの人員がかかるためその確保が困難で辞退されたということです。</p> <p>○今回のことがありましたので、確認を怠らず以後、注意します。</p>
<p>【審議結果】</p> <p>本案件は、法律改正により電算入力事務が増えたため、業者側がこれまでより請け負える自治体の件数が減ったことにより、辞退者が相次ぎ入札不調となったと判断した。</p>	
<p>6. 「庁舎建物の貸付け」 新規案件</p> <p>⑩自動販売機設置に係る庁舎建物の貸付け (貸付：制限付一般競争入札)</p> <p>○新しい庁舎は市が業者からリースしていると聞いているが、その建物内に設置する自販機の設置料を市が取るのはまた貸しになりませんか。</p> <p>○今回、入札方式に変更したのはどんな理由ですか。</p> <p>○これからは市の方針として、他の公共施設で同じ形で行ない、歳入増を図ることもあるということですか。</p> <p>○随意契約と比べてメリットはどのようなところですか。</p>	<p>○事前に事業者からは承諾を得ています。</p> <p>○これまでは手数料で、一律いくらということで歳入を得ていましたが、入札に変えることで業者が価格競争をし、市の歳入が増えることを考えました。</p> <p>○今回試行的に行いまして問題がなければ有り得ると思います。</p> <p>○業者が競うことで一番高い応札額のところに決まるので歳入増が見込まれま</p>

<p>○他の施設でもできそうですか。</p>	<p>す。</p> <p>○施設はそれぞれ所管グループが管理しており、自販機の設置が災害対応用として設置されているもの、指定管理者に委託している施設はこれを収入としているもの等、各施設で設置者、理由が様々なので、現状を整理しないとすぐには難しいです。</p>
<p>【審議結果】</p> <p>本案件は、新しい試みとして有効であると判断された。今後については、施設によって設置者、設置理由が様々であるので、それを整理してからの運用となることが確認された。</p>	
<p>7. 予定価格事後公表試行案件の入札結果についてのまとめ</p> <p>事務局より、今年度4件の試行を実施したのでその報告。</p> <p>①高浜市商工会移転改修工事</p> <p> 予定価格11,104,500円 落札金額11,100,000円 落札率 99.96%</p> <p>②道路改良工事 市道呉竹高平線</p> <p> 予定価格4,591,000円 落札金額4,500,000円 落札率 98.02%</p> <p>③舗装修繕工事 市道葭池線</p> <p> 予定価格9,612,000円 1回目入札不調 最低応札額9,800,000円 2回日落札金額9,450,000円 落札率 98.31%</p> <p>④(仮称)高浜緑地多目的(スポーツ)広場整備工事</p> <p> 予定価格36,224,000円 1回目入札不調 最低応札額38,000,000円 2回日落札金額35,000,000円</p>	<p>【事務局より説明】</p> <p>○近年、落札率が高止まり傾向にある建築一式工事、土木一式工事の中から4件を選定して予定価格の事後公表を実施。業者が予定価格を目安にして応札しているのであれば、自ら積算することによって落札金額が低くなることを期待して実施したが、結果は左記のとおりとなった。</p> <p>土木一式工事、建築一式工事とも平均落札率は、前年の平成27年度とほぼ同率。</p>

落札率 96.62%

〔質疑・応答〕

○事後公表の試行となった入札で、業者が担当課に価格を探る等の動きがあったなどの話はありませんか。

○以前、予定価格事後公表で行っていた頃は落札率80%代のものもあったが、今は少しでも予定価格に近い高い落札率での落札を狙う傾向にあるのでしょうか。

○試行の件数が少ないので、もう少し工種も拡げて実施すると傾向が見えるものもあるのではないのでしょうか。

○聞いていません。

○工事現場には専任技術者を置かないといけませんが、技術者の数には限りがあるため業者も仕事を選ぶようになっています。

○工種を拡げて件数を増やしたいと思います。

【審議結果】

予定価格事後公表をすることで落札率の低下を期待したが、落札率に変化は見られなかった。平成29年度は対象工種を増やし、試行件数も増やして継続して審議することとした。